

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2017/4/26	2017/4/26	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	9:00	10:40	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	雨	雨	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	14.6	14.2	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	23.0	7.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	2.1	3.4	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	12	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	221.75	221.75	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.79	1.79	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	7	8	様式I-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Elakatothrix属			1200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		1200	1200		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群			3600		
	Handmania属		12000	1200		
	Melosira varians			1000		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		9600	1200		
	Asterionella formosa群		25000	65000		
	Fragilaria crotonensis		4400			
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		8400	2400		
	Ulnaria japonica		400	400		
	Cymbella属(広義)			1200		
	その他のハネケイソウ科珪藻		1200			
	Nitzschia属		1200			
黄金藻綱	Dinobryon属		8400	5000		
	Uroglena americana		6400000	8300000		
	その他の黄金藻		13000	70000		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		34000	32000		
	その他のPeridinium属		61000	54000		
	合計		6579800	8539400		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		14	15		出現した種類数を記入する。

新宮_植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/5/9	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:00	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	雨	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	13.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	20.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.9	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	219.37	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.78	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタシ・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	9	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		9600	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	その他の非遊泳性緑色単細胞		55000	
珪藻綱	Handmania属		31000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		24000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		400	
	Pinnularia-Caloneis属		200	
	その他のハネケイソウ科珪藻		1200	
黄金藻綱	Dinobryon属		6000	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		53000	
	その他のPeridinium属		46000	
クリプト藻綱	クリプト藻		9600	
	合計		236000	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		11	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/6/6	2017/6/6	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:00	10:30	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	21.3	21.7	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	22.0	4.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.8	>4.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	218.61	218.61	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.54	0.54	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.02	0.02	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	12	13	様式I-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		2400		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。その他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		3600		
	Oocystis属		7200		
	Scenedesmus属		4800		
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		48000	53000	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		7200	2400	
	その他の非遊泳性緑色単細胞		11000	2400	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		18000	9600	
	Handmania属		19000	11000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		120000	23000	
	Asterionella formosa群			1600	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)			1200	
	Achnanthisidium属(広義)		1200		
	Gyrosigma属			200	
	Diploneis属			1200	
	その他のハネケイソウ科珪藻			3600	
	Nitzschia属		3600	1200	
黄金藻綱	Dinobryon属		55000	17000	
	Mallomonas属		1200		
	その他の黄金藻		6000	8400	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		26000	180000	
	その他のPeridinium属		8400		
クリプト藻綱	クリプト藻		4800	2400	
	合計		347400	318200	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		18	16	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/7/13	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:10	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	28.4	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	28.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.3	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	227.37	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	3.37	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	3.40	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	14	様式1-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Tetraedron属		1200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Elakatothrix属		2400	
	Monoraphidium属		6000	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		9600	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		11000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		20000	
	Ulnaria japonica		400	
	Gomphonema属		1200	
	その他のハネケイソウ科珪藻		1200	
	Nitzschia属		6000	
黄金藻綱	Mallomonas属		3600	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		94000	
	その他のPeridinium属		1200	
クリプト藻綱	クリプト藻		180000	
ラフィド藻綱-ハプト藻綱	その他の鞭毛藻(ラフィド藻・ハプト藻)		8400	
		合計	346200	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	15	出現した種類数を記入する。

新宮_植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/8/1	2017/8/1	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:16	11:45	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	29.5	31.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	27.0	12.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	7.7	7.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	227.12	227.12	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.11	0.11	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.08	0.08	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	15	16	様式I-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属			4800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		25000	36000	
	Oocystis属		24000	19000	
	Coelastrum属		38000	77000	
	Scenedesmus属		1200	38000	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		320000	190000	
車軸藻綱	Cosmarium属			100	
	Staurastrum属			200	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		3600	20000	
ミドリムシ藻綱	Trachelomonas属		100	100	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群			400	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻			7200	
	Ulnaria japonica		200		
	その他のイタケイソウ科珪藻		100		
	Achnanthyidium属(広義)		2400		
渦鞭毛藻綱	Gomphonema属		600		
	Ceratium hirundinella		100	200	
クリプト藻綱	Peridinium bipes		3600	86000	
	クリプト藻		16000	11000	
	合計		434900	490000	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		14	15	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/9/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:05	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	22.9	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	22.0	採水位置の水面より底までの深さを1/10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	7.2	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	221.07	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.85	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.16	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタシ・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	19	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		4800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Oocystis属		4800	
	Coelastrum属		38000	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		48000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		2400	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		41000	
クリプト藻綱	クリプト藻		2400	
ラフィド藻綱-ハプト藻綱	その他の鞭毛藻(ラフィド藻・ハプト藻)		3600	
	合計		145000	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		8	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/10/3	2017/10/3	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:16	11:11	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	雨	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	20.2	21.1	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	26.0	12.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.9	5.7	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	226.49	226.49	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.63	1.63	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	20	21	様式I-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
藍藻綱	その他のユレモ目糸状藍藻		160000		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。その他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
緑藻綱	Eudorina属		6400		
	Pandorina morum		1600		
	Elakatothrix属		1200		
	Monoraphidium属		7800	9600	
	Oocystis属		1200		
	Coelastrum属		48000		
	Scenedesmus属		2400		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		1800	1800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		70000	10000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		3600	1200	
	Asterionella formosa群		3600		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1800		
	Tabellaria属		1800		
	Ulnaria japonica		600		
	Gomphonema属		600		
黄金藻綱	Dinobryon属		7800		
	Mallomonas属		2400	14000	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		17000	7800	
	その他のPeridinium属		3000		
クリプト藻綱	クリプト藻		26000	4800	
ラフィド藻綱-ハプト藻綱	その他の鞭毛藻(ラフィド藻・ハプト藻)		10000	40000	
	合計		378600	89200	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		22	8	出現した種類数を記入する。

新宮ダム_植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2017/11/1	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	10:30	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	17.6	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	33.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	2.5	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	233.70	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	19.56	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	19.56	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクストラ・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	22	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Oocystis属		400	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		2400	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		3000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		3000	
	その他のハネケイソウ科珪藻		300	
黄金藻綱	Mallomonas属		1200	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		100	
	Peridinium bipes		200	
		合計	10600	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	8	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2017/12/5	2017/12/5	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	9:16	10:36	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	6.7	7.0	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	36.0	18.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.9	5.8	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	9	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	233.72	233.72	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.25	1.25	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	1.50	1.50	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	25	26	様式I-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Elakatothrix属		4800	2400	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		800	1600		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		1200	1200		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		110000	240000		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		9000	1800		
	Asterionella formosa群		8400	52000		
	Fragilaria crotonensis			1800		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		16000	15000		
	Ulnaria japonica		100			
	その他のイタケイソウ科珪藻		100	100		
	Cymbella属(広義)			200		
	その他のハネケイソウ科珪藻		300	300		
	Nitzschia属		600	1200		
黄金藻綱	Mallomonas属		600	9600		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		100	600		
	その他のPeridinium属		300	300		
クリプト藻綱	クリプト藻		300	7200		
	合計		152600	335300		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		15	16		出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/1/9	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:05	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	6.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	28.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.8	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	225.77	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	5.41	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	6.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタシ・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	27	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
珪藻綱	<i>Aulacoseira ambigua</i> f. <i>ambigua</i>		7800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、 <i>Pseudanabaena limnetica</i> 群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	<i>Aulacoseira pusilla</i> 群		88000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		2400	
	<i>Acanthoceras zachariasii</i>		600	
	<i>Asterionella formosa</i> 群		62000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		23000	
	<i>Ulnaria japonica</i>		1200	
	Cymbella属(広義)		300	
	Gomphonema属		300	
	その他のハネケイソウ科珪藻		600	
Nitzschia属		600		
黄金藻綱	Mallomonas属		4800	
渦鞭毛藻綱	<i>Peridinium bipes</i>		200	
	その他のPeridinium属		1800	
クリプト藻綱	クリプト藻		18000	
		合計	211600	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	15	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/2/6	2018/2/6	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	12:53	14:24	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	2.3	1.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	25.0	9.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.0	5.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	7	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	224.47	224.47	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m ³ /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	4.80	4.80	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	6.00	6.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	28	29	様式1-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Pediastrum属 Scenedesmus属			800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
緑藻綱-車軸藻綱	その他の非遊泳性緑色単細胞		1200	1800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		160000	6000	
	Melosira varians			400	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		18000	9000	
	Asterionella formosa群		7200	19000	
	Fragilaria crotonensis			1100	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		43000	25000	
	Tabellaria属			200	
	Ulnaria japonica		300	300	
	Diatoma属			300	
	その他のイタケイソウ科珪藻		200	100	
	Achnanthisidium属(広義)			2400	
	Diploneis属		200		
	Gomphonema属			600	
	その他のハネケイソウ科珪藻		300	600	
	Nitzschia acicularis群		200	300	
	Nitzschia属			600	
	コバンケイソウ科珪藻			100	
黄金藻綱	Dinobryon属		2300		
	Mallomonas属			300	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes			200	
	その他のPeridinium属		300	300	
	合計		233200	69400	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		12	21	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2018/3/7	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	9:00	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	6.4	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	26.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 1.0mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.5	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	225.52	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m ³ /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m ³ /s	6.61	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m ³ /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスタラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	30	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。	
	綱名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属			3600	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻			1800	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群			43000	
	Handmania属			1200	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻			5400	
	Asterionella formosa群			62000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)			25000	
	Tabellaria属			1900	
	Ulnaria japonica			600	
	その他のイタケイソウ科珪藻			200	
	Cymbella属(広義)			300	
	その他のハネケイソウ科珪藻			600	
	Nitzschia acicularis群			200	
黄金藻綱	Dinobryon属			25000	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes			7200	
	その他のPeridinium属			1200	
クリプト藻綱	クリプト藻			1200	
		合計	180400	細胞数または群体数の合計を記入する。	
		種類数	17	出現した種類数を記入する。	